

ステップ2におけるPI委員会の評価の視点

	実施計画での評価の視点	ステップ2での評価の視点
1	多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか	・多様な利害関心を把握し、それらに対立構造にならないようにとりまとめられているか？
2	どのステップの検討をしているか明確にしながら進めているか	・ステップ2の検討段階であることが明示され、誤解がないようにするための努力がなされているか？
3	議論が混乱しないよう、各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか	・ステップ2での検討趣旨が明示され、それが理解されるための努力がなされているか？
4	多様な利害や関心を踏まえた上で、目標や代替案、評価項目を設定しているか	・目標は、単なる立場や要望などでなく、その理由となっているニーズ（利害・関心）を踏まえたうえで適切に設定されたか？
5	市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか	・どのようなステークホルダーが存在し、それらに対し多重多層のコミュニケーションが行われているか？
6	積極的かつ適切に情報を提供しているか、十分に意見を聴き、論点を把握しているか	・情報提供のため努力が十分になされているか、また、意見の把握では論点を把握する努力がなされているか？ ・提供した情報に偏りはないか、適切な情報が提供されたか？
7	PI委員会の助言を踏まえて、適切にPIを実施しているか	・PI委員会の助言に対して、適切な対応がなされているか？
8	その他	・勉強会の運営において、意図的な議論の打ち切りや、遅延行為はなかったかなど、適切な議論や時間管理がなされているか？